

# 2022 年度活動計画

## I 開発委員会

### 1. IFC2CEDXM アプリ仕様書 Ver3.0 の開発（複数年度開発事業）

Ver1.0 および Ver2.0 では、プレカット連携を主題としており、横架材、柱、羽柄、屋根面、部屋の 3D 形状及び横架材、柱、羽柄の属性の連携に留めていたが、本年度以降については、構造計算連携をターゲットとするため、さらに開口及び部屋、屋根の追加情報の連携対応を計画している。

当該する範囲は、IFC2CEDXM アプリ開発仕様書 Ver3.0 と併せて、BIMCAD における木質材料の入力の際の手法も含めて検討を予定している。

### 2. BIMCAD サンプル物件検証（2021 年度からの継続案件）

#### （1）概要

各 BIMCAD メーカーに対して、評議会で準備した「2 階建て木造サンプル物件」を各社の BIMCAD で入力してもらい、その IFC ファイルの提供を受け、IFC2CEDXM 検証用変換テストアプリにより、CEDXM Ver4.0 へ変換し、その結果を評価検証することで、下記につなげる。

- ・ IFC2CEDXM アプリ開発仕様書の改訂
- ・ BIMCAD でプレカット及び構造計算連携を目的に木造建築を入力する際の注意事項の拡充
- ・ Cedxm\_Pset\_param の拡充

#### （2）対象 BIMCAD メーカー及び IFC ファイルの入手状況及び進捗状況

2021 年度内に、下記メーカーより IFC ファイルを提供いただいている。

エーアンドエー(株) (vectorworks)

hsb ソリューションズ(株) (HSBCAD)

オートデスク(株) (Revit)

グラフィソフトジャパン(株) (Archicad)

(株)鈴工 (CADWORK)

福井コンピュータアーキテクト(株) (GLOOBE)

現在、提供された IFC ファイルを IFC2CEDXM 検証用変換テストアプリにより CEDXM Ver4.0 へ変換し、その結果を、各社の CEDXM アプリで検証中である。

今後は、当該検証結果をまとめあげ、IFC ファイルを提供いただいた上記 BIMCAD メーカーへ報告する。

### 3. Cedxm\_Pset\_param の拡充

IFC2CEDXM アプリ開発仕様書 Ver1.0 では、プレカット連携を主題としており、詳細情報の連携は、「横架材、柱、羽柄」にとどまっている。

構造計算連携をターゲットとするためには、「開口、部屋、屋根」のプロパティも追加が必須のため、当該を網羅した「Cedxm\_Pset\_paramVer2.0」を開発する。

なお、下記に、現状バージョンである「Cedxm\_Pset\_paramVer1.0」の活用例を示す。

#### ■ CADWORK

<管柱の例>

```
#35678=IFCPROPERTYSINGLEVALUE('syurui','','IFCLABEL('kudabashira'),$);
#35679=IFCPROPERTYSINGLEVALUE('jyusyu','','IFCLABEL('¥X2¥6867¥X0¥KD'),$);
/*      ' 桧 KD'      */
#35680=IFCPROPERTYSINGLEVALUE('toukyuu','','IFCLABEL('¥X2¥72794E007B49¥X0¥'),$);
/*      ' 特一等'      */
#35681=IFCPROPERTYSINGLEVALUE('kesyou','','IFCBOOLEAN(.F.),$);
#35682=IFCPROPERTYSINGLEVALUE('joutan_keijyou','','IFCLABEL('kakuhozo'),$);
#35683=IFCPROPERTYSINGLEVALUE('katan_keijyou','','IFCLABEL('kakuhozo'),$);
#35684=IFCPROPERTYSINGLEVALUE('hasira_w1','','IFCLABEL('105'),$);
#35685=IFCPROPERTYSINGLEVALUE('hasira_w2','','IFCLABEL('105'),$);
#35686=IFCPROPERTYSINGLEVALUE('hashira_shinzure_x','','IFCLABEL('0'),$);
#35687=IFCPROPERTYSINGLEVALUE('hashira_shinzure_y','','IFCLABEL('0'),$);
```

<梁の例>

```
#26605=IFCPROPERTYSINGLEVALUE('mokuzai','','IFCBOOLEAN(.T.),$);
#26606=IFCPROPERTYSINGLEVALUE('syurui','','IFCLABEL('hari'),$);
#26607=IFCPROPERTYSINGLEVALUE('jyusyu','','IFCLABEL('¥X2¥30B930AE¥X0¥'),$);
/*      ' スギ'      */
#26608=IFCPROPERTYSINGLEVALUE('toukyuu','','IFCLABEL('¥X2¥4E007B49¥X0¥'),$);
```

/\* '一等' \*/

```
#26609=IFCPROPERTYSINGLEVALUE(' kesyou', '', IFCBOOLEAN(. F. ), $);  
#26610=IFCPROPERTYSINGLEVALUE(' siten_keijyou', '', IFCLABEL(' ari'), $);  
#26611=IFCPROPERTYSINGLEVALUE(' syuuten_keijyou', '', IFCLABEL(' ari'), $);  
#26612=IFCPROPERTYSINGLEVALUE(' w', '', IFCLABEL(' 105'), $);  
#26613=IFCPROPERTYSINGLEVALUE(' h', '', IFCLABEL(' 150'), $);  
#26614=IFCPROPERTYSINGLEVALUE(' shinzure', '', IFCLABEL(' 0'), $);
```

## ■ARCHICAD

<階段柱>

```
#5895= IFCPROPERTYSINGLEVALUE(' mokuzai', $, IFCBOOLEAN(. T. ), $);  
#5896= IFCPROPERTYSINGLEVALUE(' syurui', $, IFCLABEL(' kaidan'), $);  
#5897= IFCPROPERTYSINGLEVALUE(' kesyou', $, IFCBOOLEAN(. F. ), $);  
#5898= IFCPROPERTYSINGLEVALUE(' hasira_w1', $, IFCTEXT(' 105. 0'), $);  
#5899= IFCPROPERTYSINGLEVALUE(' hasira_w2', $, IFCTEXT(' 105. 0'), $);
```

<筋違>

```
#45815= IFCPROPERTYSINGLEVALUE(' mokuzai', $, IFCBOOLEAN(. T. ), $);  
#45816= IFCPROPERTYSINGLEVALUE(' syurui', $, IFCLABEL(' sujikai'), $);  
#45817= IFCPROPERTYSINGLEVALUE(' jyusyu', $, IFCTEXT(' beihiba'), $);  
#45818= IFCPROPERTYSINGLEVALUE(' toukyuu', $, IFCTEXT(' tokuichi'), $);  
#45819= IFCPROPERTYSINGLEVALUE(' kesyou', $, IFCBOOLEAN(. F. ), $);  
#45820= IFCPROPERTYSINGLEVALUE(' w', $, IFCTEXT(' 45. 0'), $);  
#45821= IFCPROPERTYSINGLEVALUE(' sinzure', $, IFCTEXT(' 0. 0'), $);  
#45822= IFCPROPERTYSINGLEVALUE(' h', $, IFCTEXT(' 90. 0'), $);
```

## ■vectorworks

<通し柱>

```
#12313= IFCPROPERTYSINGLEVALUE(' hasira_w1', $, IFCTEXT(' 120. 000000'), $);  
#12314= IFCPROPERTYSINGLEVALUE(' hasira_w2', $, IFCTEXT(' 120. 000000'), $);  
#12315= IFCPROPERTYSINGLEVALUE(' kesyou', $, IFCBOOLEAN(. F. ), $);  
#12316= IFCPROPERTYSINGLEVALUE(' mokuzai', $, IFCBOOLEAN(. T. ), $);  
#12317= IFCPROPERTYSINGLEVALUE(' syurui', $, IFCTEXT(' tooshi'), $);
```

<谷木>

```
#32142= IFCPROPERTYSINGLEVALUE(' h', $, IFCTEXT(' 90'), $);
```

#32143= IFCPROPERTYSINGLEVALUE('kesyou', \$, IFCTEXT('kesyou'), \$);  
#32144= IFCPROPERTYSINGLEVALUE('mokuzai', \$, IFCTEXT('mokuzai'), \$);  
#32145= IFCPROPERTYSINGLEVALUE('syurui', \$, IFCTEXT('taniki'), \$);  
#32146= IFCPROPERTYSINGLEVALUE('w', \$, IFCTEXT('90.000000'), \$);

4. BIMCAD でプレカット構造計算連携を目的に木造建築を入力する際の注意事項一覧の VerUP  
当該を拡充します。

## 5. 外部委員会活動

### (1) (公財)日本住宅・木材技術センター

林野庁事業の一環として、木質系要素入力時のプロパティセットの標準化へ参画する。

### (2)国土交通省・BIM 活用推進協議会

本年度は木質系要素をターゲットとしており、木質系要素入力時のプロパティセットの標準化へ参画する。

## II 情報提供事業

### 1. 各社の CEDXM 連携状況の実態調査 (2021 年度からの継続)

プレカット CAD、意匠 CAD、構造 CAD のメーカー各社を対象に、CEDXM のチェック項目についての対応状況について調査を行う。

CEDXM 連携の究極の目標は、出力側と入力側で同一内容になることだが、本調査では同一の CAD で同じ結果が得られるという前提のもとに、他社 CAD との連携精度の向上を図ることを目的としている。

### 2. 実態調査の結果の各社マニュアル作成

上記 1. の実態調査結果をもとに、精度が悪い部分を重点的にチェックすべき「確認すべき項目」として明確にし、連携時のチェック手間の軽減を図ることを目的としている。これにより各社の入力マニュアルの作成・整備につなげていく。

### 3. CEDXM 入出力可能プレカット工場掲載数の拡充

評議会のホームページに公開されている CEDXM 入出力可能プレカット工場の掲載数を拡充するため、各プレカット工場へ掲載・情報提供依頼を進めていく。

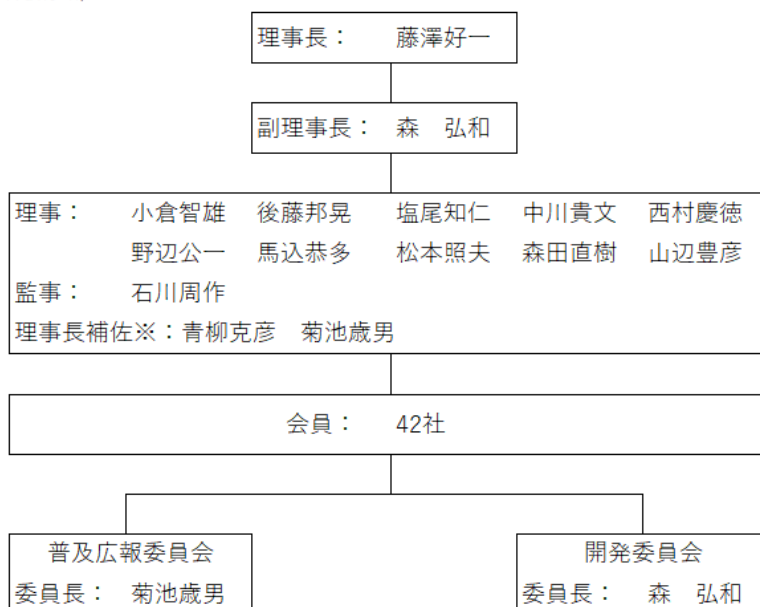
上記 1～3 の活動推進のため、随時委員会を開催する。

### Ⅲ その他の活動

#### 1. 理事長補佐の任用

評議会活動の活発化のため、理事長補佐を任用し、拡大理事会の構成員とする。

(氏名敬称略)



※理事長補佐とは、拡大理事処遇を指します。評議会の活動実践化のフロントを担います。

#### 2. 総会の開催

2022年度の通常総会は、本年度の総会は新型コロナウイルス感染拡大防止を最優先に考慮し、ハイブリッド開催とする。

#### 3. 理事会の開催

事業の進捗状況により年5～6回の開催を予定し、新型コロナウイルス感染状況を考慮しながら、オンラインまたはハイブリッド開催とする。

#### 4. 情報発信

評議会ホームページ、メール等により随時会員、一般への情報発信を行う。また、メディアからの情報提供も随時行っていく。